

## 第2次黒部市総合振興計画後期基本計画策定方針について

### 1 後期基本計画策定の目的

- 平成30年度に策定した第2次黒部市総合振興計画では、第1次黒部市総合振興計画の取組を総括するとともに、社会情勢の変化や時代の流れに的確に対応し、更なる飛躍を目指すため、これからのまちづくりにおいて総合的かつ計画的な行財政運営を図るための方策を示し、市民と共有し協働して実践していくための新たな指針を基本構想及び前期基本計画のなかで示した。
- 今回の後期基本計画策定にあたっては、長期的なまちづくりの方向性を示す**基本構想をそのまま受け継ぎながら、本市を取り巻く状況や市民ニーズの変化に対応するとともに、第3期黒部市総合戦略を包含する計画策定**を目的とする。

#### 【計画策定における3つの視点】

- ①市民と行政の知恵を結集した手作り型の計画（市民との協働）
- ②KPI等とPDCAによる進捗管理と事業改善の仕組みの構築（成果目標と評価）
- ③財政見通しに基づく計画性と実効性の確保（実行性重視、予算等との連動）

### 2 計画の実施期間と構成

- 今回策定する総合振興計画後期基本計画の実施期間は、令和5年度から令和9年度までの5年間とする。（2023年度～2027年度）

#### 【第2次黒部市総合振興計画】

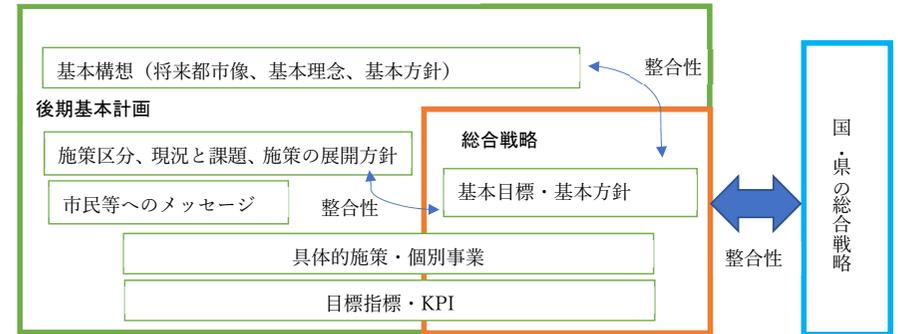
計画開始年度	平成30年度（2018）
計画目標年度	令和9年度（2027）
計画期間	基本構想 平成30年度～令和9年度（2018～2027）の10年間
	基本計画（前期） 平成30年度～令和4年度（2018～2022）の5年間
	（後期） 令和5年度～令和9年度（2023～2027）の5年間

- 構成については、前期基本計画と同じく、基本構想、基本計画、実施計画の3層構造とする。主な組み立ては、【第2次黒部市総合振興計画後期基本計画の構成（案）】（資料1-3）に示す。

- 今回策定する総合振興計画**後期基本計画より「まち・ひと・しごと創生 黒部市総合戦略」は総合振興計画に含まれるものとし、総合振興計画内に総合戦略についての記載のページを設ける。**後期基本計画の**施策区分、現況と課題、施策の展開方針と総合戦略の基本目標、基本方針の整合性を図り、目標指数・KPIや具体的施策については「総合振興計画の一部」＝「総合戦略」となるよう共通化を図る。**

総合振興計画後期計画と総合戦略の関係性については、【総合振興計画と総合戦略の関係（イメージ図）】（後記）に示す。

#### 【総合振興計画と総合戦略の関係（イメージ図）】



### 3 後期基本計画にあたっての留意点

- 後期基本計画策定にあたっては、下記の点を留意する。
  - ①前期基本計画には想定していなかった課題（新型コロナウイルス感染症への対応）やDX（デジタルトランスフォーメーション）によるSociety5.0の実現に向けた技術の活用や国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組など「新しい時代の流れ」や「新たな視点」を加味。
  - ②第2次総合計画策定時のR9年度目標人口39,000人について、令和2年度国勢調査速報値39,647人の数値を踏まえて目標値の改定の必要性の是非について議論。そのうえで具体的施策や個別事業の見直し。

### 4 計画策定の推進体制

- 計画推進体制の概要（資料2）

### 5 策定過程における市民参画

- アンケート調査をはじめ、公募による審議会への市民代表の参加により、市民を交えた施策の素案づくりを行う。また、タウンミーティングやパブリックコメントにより、広く市民からの意見を収集し計画策定に反映する。

項目	内容
審議会	公募により市民代表者を選出し、計画の調査・協議・検討を行う。
住民アンケート調査	市民・中高生を対象に、現状の満足度や今後の重要施策、将来像等の意向を調査し、計画に反映させる。
タウンミーティング	計画の策定にあたって、より多くの市民の各施策に対する提言を求める。
パブリックコメント	広報やホームページを活用し、市民からの意見、要望等を公募し、計画策定に反映する。
情報公開	広報やホームページで計画の策定状況（審議概要・アンケート結果）等を掲載し、継続的に計画策定に関する情報を提供する。

### 6 事業評価の継続について

- 「限られた財源でより効果的な施策の展開」を実行していくため、前期基本計画と同様に各施策が果たすべき成果指標の設定や進捗評価、改善プロセス（PDCAサイクル）を重視した事業評価システムを継続して実施する。